安全・安心まちづくり通信　vol. 31
平成29年8月発行

いかのおすし通信

いかない（知らない人にはついて行かない）
のらない（知らない人の車に乗らない）
おおごえをだす（助けて！と大声を出す）
すぐ逃げる（連れていかれそうになったら、すぐ逃げる）
しらせる（近くの大人に何があったか知らせる）

標語著作者～警視庁・東京都教育庁

秋田県生活環境部　県民生活課
電　話　018－860－1522　　FAX　018－860－3891
E-mail　kotsu @ mail2.pref.akita.jp
ＵＲＬ　http://www.pref.akita.lg.jp/seikatu/

表紙　大仙市の清水っ子身守り隊の活動紹介
P2　安全・安心な雪下ろし支援事業など、秋田県からのお知らせ
P3　特殊詐欺防止・秋田県警察からのお知らせ
P4　おらほの防犯団体紹介など　活動団体応援・ベスト帽子のご提供

清水っ子身守り隊（大仙市清水小学校）

子どもたちを犯罪や事故から守る　見守り活動

学校田で収穫したお米をプレゼントしている様子

「巡回結果報告」
巡回したときは、巡回ルートと気付いたことなどを記載した上で、清水小学校に提出し、学校からコメントをもらっています。

大仙市の清水っ子身守り隊は、平成十七年に清水小学校の子どもたちの安全な下校を支援するため、民生委員の方々を中心に結成され、現在十名のメンバー（民生委員七人、ボランティア三人）が活躍しています。

毎週火曜日、子どもたちの下校時刻に合わせてパトロール活動を行い、活動終了後に活動ルートや注意点・気が付いた事項等を報告書に記載し、校長等と懇談を行い、学校からコメントを書いてもらうなど、学校と密接に連携し、効果的な見守り活動を行っています。

学校や大仙市教育委員会では、「パトロール後に、下校中の子どもたちの様子や道路状況の変化、季節に応じた危険箇所の指摘などをしていただくことで、子どもたちへの迅速な指導や注意喚起ができるので、防犯や交通安全教育をする上で、大きな効果が上がっています。」と感謝するとともに、身守り隊の活動が、「子どもたちの安全安心」になくてはならないものであると考えています。

学校では、隊員の方々を毎年入学式に招待し、隊が行っている見守り活動の説明や隊員の紹介を行っており、子どもたちや保護者の方は、通学時等において地域の方々に見守られているという安心感を抱いています。

また、昨年十二月には、一年間見守り活動をしていただいた隊員全員を招いて、子供たちから学校田で収穫したお米をプレゼントして、日頃の感謝の気持ちをお伝えしました。

県からのお知らせ

安全・安心まちづくり功労者表彰団体決定！

今年度の安全、安心まちづくり功労者表彰として、次の5団体が表彰されることになりました。
表彰は、10 月に開催予定の「安全・安心まちづくり担当者研修会」において行われます。

- ○琴小っこ見守り隊（三種町）
- ○清水っ子身守り隊（大仙市）
- ○牛島学区安全パトロール推進協議会（秋田市）
- ○やまびこパトロール隊（由利本荘市）
- ○矢島小学校サポーター「子ども見守り隊」（由利本荘市）

受賞される団体の皆様おめでとうございます！

高齢者の交通安全『あきた弁川柳』

交通安全の意識を高め、耳慣れた秋田弁で広く県民に交通事故防止を呼びかけるため、秋田弁を使った「交通安全作品コンクール」の川柳を65歳以上の皆さんから募集し、62人の中から次の方の受賞が決定しました。

御応募いただいた皆様、ありがとうございました！

最優秀

斜めなば　わだらえねじゃな　孫まねす

（ 孫まねる　斜め横断　できないね ）

佐藤　豊さん（大潟村）

優　秀

かがの手の　お握りが言う　気つけでな

（ 出がけに奥さんが必ず手を握り、気をつけてねと言う ）

京野　幸子さん（大仙市）

佳作：
田中悠心さん（大仙市）、西村恵子さん（男鹿市）
倉田久美子さん（大仙市）、佐藤千鶴子さん（五城目町）
小野真澄さん（能代市）

平成２９年度　安全・安心な雪下ろし支援事業

冬の備え、お早めに！
雪下ろしは危険がいっぱい！万全な安全対策を

雪下ろしの安全対策や負担軽減を目的とした5万円以上の住宅改修工事費用を補助します。

○対象地域　特別豪雪地帯を含む13市町村

鹿角市・大館市・北秋田市・上小阿仁村・藤里町・由利本荘市・大仙市・仙北市・美郷町・横手市・湯沢市・羽後町・東成瀬村

○対象世帯　65歳以上の高齢者がお住まいの世帯など
○対象工事　命綱やはしごの固定金具、融雪装置や雪止めの設置など
○補助率　工事費の1／2（上限10万円）
※　申請方法など、詳細については施工前に県民生活課までお問い合せください。

県内の雪による死傷者数　102人（平成28年度）
うち、雪下ろし作業中の死傷者　53人（全体の半数以上は、雪下ろし中の事故です。）
「自分は慣れているから、大丈夫」という過信は禁物です。

※補助は、予算がなくなり次第終了となります。

お問い合わせ先　県民生活課　電話　018－860－1522　FAX　018－860－3891

特殊詐欺の被害状況

○ 平成28年中
　全国　被害件数：約1万4，000件　被害金額：約407億円
　県内　被害件数：36件　被害金額：約8，800万円
○ 平成29年6月末現在 秋田県内
　被害件数：23件　被害金額：約4，700万円

全国では、被害件数が微増、被害金額が減少しています。
秋田県では、被害件数、被害金額は減少傾向にありますが、全国、県内ともに依然として高い水準で推移しており、深刻な事態が続いています。

特殊詐欺の被害に遭わないために

1 電話でお金の話は詐欺

　全国、県内とも依然として多額のお金をだまし取られる被害が発生しています。
　電話でお金の話が出たら「絶対に詐欺だ」と疑い、すぐに家族や最寄りの警察署（交番、駐在所）に相談してください。

2 若い人も要注意！！

　特殊詐欺の被害者は、決して高齢者だけではありません。
　特に、「上司、同僚からのSNSによる電子マネーの購入依頼」、「アダルトサイトの解約手数料」などの名目での詐欺が多発しています。
　「特殊詐欺は高齢者をねらったもの」という思い込みを持たず、おかしいと思ったら、
　○　SNSの相手に電話連絡してすぐ確認
　○　アダルトサイトに記載された電話番号、メールアドレスには連絡せず、すぐに最寄りの警察署等に相談
してください。

3 ATM利用限度の引き下げ

　特殊詐欺の被害は、ATMからの振り込みによるものが多いので、高齢のお父さんやお母さんがいる方は、キャッシュカードの1日当たりの利用限度を最低まで引き下げることを検討してください。
　また、家族間で利用限度の情報を共有し、「家族を騙る者から電話で利用限度以上の振り込みを求められた場合は、間違いなく詐欺だ。」と教えてあげてください。

4 金融機関におけるアンケートへの協力

　秋田県警察では、特殊詐欺の被害を未然に防止するため、各金融機関の窓口で高額引き出しを希望された方に対して、アンケートをとるように依頼しています。
　一つでも該当項目にチェックが入った場合は詐欺を疑い、金融機関担当者の説明をしっかり聞きましょう。

おらほの 活動団体掲示板（お便り）

前田老人クラブ「地域見守り隊」

代表　長谷山　豹三　　(横手市大森町)

先日、特殊詐欺被害防止のため、警察とアマチュア劇団による高齢者を対象とした「講話と寸劇 」を企画・開催し、参加者から好評を得ました。

また、会員全員で交通安全のお守り「ミニぞうり」を作成し、交通安全運動中は交通安全を呼びかけながら配布して、ドライバーのみなさんから大変喜ばれています。

地域の小学校が廃校になり、最近子どもの姿を見ることが少なくなって寂しいですね。

お便りありがとうございます。今後も活動団体の活動をどんどん紹介してまいります。

マップコンクールの安全マップ作品を募集しています！

（一社）日本損害保険協会では、防災、防犯、交通安全など、地域の安全・安心をテーマとしたマップコンクールを行っております。

応募締め切り

１１月 ８ 日（水）まで受付

※　応募方法などの詳細については（一社）日本損害保険協会のホームページを御確認ください。

応募先・問い合わせ先

「ぼうさい探検隊マップコンクール」事務局
電話 03-6822-9355
E-mail：info@edp-entry.jp

損保協会ホームページ　https://edp-entry.jp/

活動団体にベストと帽子を提供いたします！

地域の防犯活動を支援するため、（一社）生命保険協会 秋田県協会では、防犯パトロール用の帽子とベストをセットにして無償で提供します。

希望する団体は、次の応募要項を確認のうえ御応募ください。

提供数　帽子・ベスト　１０セット１組×５団体分

対象団体　県内に所在し、自主的に防犯活動に取り組んでいる団体を対象とします。※行政及び行政が設置した機関・団体の応募は御遠慮ください。

応募方法　郵便はがきに、団体名、代表者名、連絡先（住所・電話番号）を記入のうえ、下記の宛先に御応募ください。

募集締切　平成２９年９月３０日（土）（当日の消印有効）

留意事項　応募多数の場合は、抽選となります。

その他　提供が決定した団体には、後日電話等で連絡します。

＜帽子とベスト＞

＜応募先・問い合わせ先＞
（一社）生命保険協会 秋田県協会
〒010-0951 秋田市山王 3-1-12　太陽生命秋田ビル６階
TEL 018-865-0016/FAX 018-888-1706

メッシュ素材で季節を問わずに使えると、利用団体から好評をいただいております。

◆ 編集後記
皆様のご協力の下、さらに新鮮で充実した紙面をお届けしたいと考えておりますので、よろしくお願いします。
～次回の「いか通」は、12 月発行の予定です。情報、ご意見、ご感想などお気軽にお寄せください。